

第5学年 国語科学習指導案

2組 計33人(男子15人, 女子18人)

指導者 帖佐 康博

1 単元 作品を自分なりにとらえ, 朗読しよう(教材「大造じいさんとガン」光村5年)

2 単元の目標

自分の思いや考えが伝わるように音読や朗読をするとともに, 優れた叙述について自分の考えをまとめることができる。

3 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読むこと	言語についての知識・理解・技能
文章から読み取ったこと, 自分なりに感じたことや考えたことを基に, 朗読しようとしている。	<ul style="list-style-type: none">文章から受け取った印象を大切にしながら, その思いや考えが伝わるように朗読している。【(1)ア】登場人物の心情や場面の情景描写などの優れた叙述について自分の考えをまとめている。【(1)エ】	語感や言葉の使い方に対する感覚について関心をもとうとしている。【(1)イ(カ)】

4 言語活動 読むこと「作品の世界を自分なりに捉えて朗読する言語活動」

5 単元について

(1) 単元の価値

本学級の子どもたちは, これまでに教材「あめ玉」において, 登場人物や時間, 場所などから物語の設定を捉えるとともに, 人物の気持ちや場面を読み取る学習をしてきた。また, 「のどがかわいた」では, 登場人物の行動や会話文などの叙述から人物像を捉え, 人物同士の関わりや心情の変化に気を付けて読む学習を経験している。

そこで, 本単元では登場人物の行動や会話文だけでなく, 情景描写の叙述にも着目して登場人物同士の関わりや心情の変化を読み取ることができるようにする。子どもたちは, 本単元で初めて「朗読」という言葉と出会う。「作品の世界を自分なりに捉えて朗読すること」を言語活動として位置付けることで, 読み取って自分なりに感じたことや考えたことを朗読で伝えることができるようにする。

教材「大造じいさんとガン」は, ガンの頭領「残雪」が仲間のために命をかけて戦う姿とその残雪と戦う「大造じいさん」の心情の変化が描かれている。4年にわたる長い年月の出来事が四つの場面から構成され, 話の展開が分かりやすい教材である。また, 登場人物の心情が行動や会話だけでなく, 鮮やかな情景描写で見事に表現されている。秋の空や日の光を中心とした自然描写, 戦う残雪の行動描写が巧みであり, 子どもたちを物語の世界に引き込む作品である。

本単元で子どもたちは, 鮮やかな情景描写や緊張した場面描写などから, 残雪の知恵や頭領としての威厳, ふるまいに感動していく大造じいさんの心情を読み取ることができる。そして, 読み取った心情を基に, 読み方を工夫して朗読することができるようになる。また, 椋鳩十の他の作品の並行読書を行い, ブックトークの場を設定することで, 様々な情景描写や文体に触れたり, 「大造じいさんとガン」との主題の共通性を見つけたりするとともに, 感動した場面を朗読で伝えることができるようになると思う。

ここでの学習は, 構成, 人物像, 表現から物語の特色を捉える教材「わらぐつの中の神様」や感じたことや考えたことが伝わるように音読する6年生教材「せんねん まんねん」の学習へとつながっていく。

(2) 子どもの実態（調査日 平成25年9月9日，調査人数33人）

本単元の内容に関わる子どもの実態については，以下のとおりである。（数字は人数）

【調査1】読書への興味・関心		
・とても好き (14)	・好き (15)	・あまり好きではない (4)
【調査2】音読への興味・関心		
・好き (13)	【理由】・場面に合った読み方を考えることが楽しいから など	
・好きではない (20)	【理由】・上手に読めないから・恥ずかしいから・黙読が好きだから など	
【調査3】音読に関する知識・技能（音読で気を付けること） ※複数回答		
・声の大きさ (21)	・強弱をつける (15)	・気持ちや場面を想像する (11)
・間のとり方 (11)	・読み間違わない (5)	・速さ (5)

6 指導に当たって

(1) 「思考活動」を充実させる単元構想 ～単元を貫く学習課題の設定の工夫～

本単元では、「C 読むこと」の言語活動として，朗読を取り入れたブックトークを位置付けるようにする。そして，単元を貫く言語活動に関連する事象との出会いや単元の学習課題の設定を工夫することで，椋鳩十の作品紹介に向けて，子どもたちが課題意識をもち続けることができるようにする。

具体的には，「つかむ・見通す」過程において，教師のブックトークを聞くことで，「物語の続きを知りたい」，「ブックトークをして作品の世界を伝えたい」という作品や作者への関心，学習活動への意欲を高めることができるようにする。次に，「ブックトークでは，どんなことを伝えたいのだろう」などの子どもたちの問いを基に，解決すべき課題を交流し，解決の目的や方法を明確にすることで，「感動したことを朗読で伝えよう」という単元を貫く学習課題を設定することができるようにする。なお，単元の学習課題を設定する過程では，単元の学習の目的や方法を明確化し，学習課題の中に取り入れることで，子どもたちが主体的に学習に取り組み，単元の各過程の「思考活動」の充実を図ることができるようにする。

(2) 「思考活動」を充実させる他者との交流

学習過程 (時) ◎「思考活動」	「思考活動」を充実させる意図的・計画的な他者との交流の場の設定			
	材料	視点	交流形態	手立て
つかむ 見通す (1/10) ◎想起，比較	自分や友達が考えた解決すべき課題	ブックトークをするために，解決すべき内容	全体	過去の学びの足跡や生活経験を想起させたり，教師が発問を投げ掛けたりすることで，解決すべき課題の焦点化を図る。
調べる 深める (3/10～) ◎比較・関係付け	自分や友達が考えた登場人物の心情	根拠となる叙述	全体	会話や行動，情景描写，挿絵を基に考えさせることで，登場人物の心情を捉えることができるようにする。
まとめる ひろげる (7/10～) ◎比較・修正	自分や友達の朗読の仕方	朗読記号	ペア グループ	付箋紙を活用して助言し合うことで，自分の思いが伝わる朗読を修正することができるようにする。
高める 味わう (10/10) ◎比較・評価	自分や友達の朗読の仕方	朗読の工夫	全体	評価のポイントを基に交流することで，互いの表現のよさを評価することができるようにする。

(3) 「思考活動」を充実させる評価資料の活用

単元で身に付ける観点を支える知識・技能を具体的に記述し，単元の学習過程のどの段階から指導を重ねるのか明らかにした。本単元では，優れた叙述に対する自分の考えやその感動を基に工夫した読み方を想定することで，個に応じた指導に生かすことができるようにする。

(4) 「思考活動」を充実させるICT活用

朗読の際は，デジタル教科書に朗読記号を書き込むことで，記号の使い方を理解することができるようにする。また，始めの音読と終末の朗読を録画し，比較をすることで学習の振り返りに活用できるようにする。

7 単元の学習課題を工夫して設定した指導計画（全10時間）は重点評価項目及び評価方法

過程 (時)	単元を貫く 言語活動	主な学習活動	子どもの 課題意識	教師の指導・評価 ◇ICT活用
つかむ・見通す (2)		<p>◎中心となる「思考活動」</p> <p>1 ブックトークを聞き、本の紹介の仕方を知り、学習課題を設定する。 ◎想起, 比較</p> <p>椋鳩十の作品を読んで感動したことを朗読で伝えよう。</p>	<p>椋鳩十さんは、動物が登場する作品をたくさん書いているよ。お話の続きを読んでみたい。</p>	<p>○ ブックトークの中でクイズを入れながら作品紹介をすることで、作品や作者への関心を高めることができるようにする。</p> <p>○ 教師の作品紹介のモデルを見ることで、椋鳩十の作品を朗読で紹介することを知り、読みの目的を明確にできるようにする。</p> <p>○ 教室に椋鳩十の作品を用意することで、並行読書を促し、紹介する作品を選ぶことができるようにする。</p> <p>○ 教師が読み方のモデルを示すことで、「音読」と「朗読」の違いに気付くことができるようにするとともに、朗読への意欲を高めることができるようにする。</p>
調べる・深める (5)	「作品の世界を自分なりに捉えて朗読する言語活動」 椋鳩十の作品紹介	<p>3 「前書き」から大造じいさんの人物像を捉える。</p> <p>4 残雪の様子や行動、大造じいさんの心情を場面ごとに考える。 ◎比較, 関係付け</p> <p>○ 残雪に対して感嘆の声をもらした場面</p> <p>○ 残雪に逃げられてしまった場面</p> <p>○ おとりを使う場面</p> <p>○ 残雪に向けたじゅうを下ろした場面 (本時6/10)</p> <p>○ 飛び去っていく残雪を見守る場面</p>	<p>作品紹介の時の朗読に生かすためにも、「大造じいさんとガン」を丁寧に読んでいこう。</p> <p>直接的に書かれていなくても、情景から心情を想像しながら読むことができるんだね。</p> <p>大造じいさんの残雪に対する心の変化に気付いたぞ。読み方を工夫してみよう。</p>	<p>○ 大造じいさんの気持ちに寄り添って書かれた表現に着目して読ませることで、作品の構成と内容の大体をつかむことができるようにする。</p> <p>◇ 「いろり」「自在かぎ」「ろばた」など、国語辞典で意味を調べてもイメージができない言葉については、絵や写真を提示し、場面を想像することができるようにする。</p> <p>○ 残雪の呼称の変化、各場面の最後の一文に表れた心情の変化を情景の描写と関連付けることで、大造じいさんの心情や人物像を捉えることができるようにする。</p> <p>【言語についての知識・理解・技能：発表・ノート】</p> <p>○ 朗読の際は、声の大きさ、速さ、強弱の付け方、声の高さ、間の取り方などの観点を示すことで、読み方を工夫することができるようにする。</p>
まとめる・広げる (2)		<p>5 「大造じいさんとガン」で感動した場面を朗読する。</p> <p>6 椋鳩十の作品を一つ選び、感動した場面の朗読の仕方を考える。 ◎比較, 修正</p>	<p>読み方が上手な友達には、どんな工夫をしているのだろう。</p> <p>まだこの作品を読んでいない友達が読みたくなるように、読み方を工夫してみよう。</p> <p>同じ作品を選んでいても、感動した場面や朗読の仕方等に違いがあっておもしろいな。</p>	<p>◇ デジタル教科書に朗読記号を書き込む活動を提示することで、読み方の工夫について共通理解することができるようにする。</p> <p>◇ 学習前の読みを動画で保存し、学習後の読み方と比較することで、自分の読み方の違いを実感できるようにする。</p> <p>○ 「大造じいさんとガン」という共通の作品を用いて朗読をすることで、友達の朗読の工夫を学び、次時の朗読に生かすことができるようにする。</p> <p>登場人物の心情や場面の情景描写などの優れた叙述について自分の考えをまとめている。 【読む能力：ワークシート】</p>
高める・味わう (1)		<p>7 朗読で椋鳩十作品の紹介をする。 ◎比較, 関係付け</p> <p>8 本単元の学習を振り返る。 ◎想起, 評価</p>	<p>読んだことのない作品を読んでみたかったよ。</p>	<p>自分が文章から受け取った印象を大切にしながら、その思いや考えが伝わるように朗読している。 【読む能力：朗読】</p> <p>○ 単元の学習をとおして身に付けたことやこれからの学習に生かしたいことを交流することで、身に付けた学びを他教科や生活場面で活用できるように意識を高めることができるようにする。</p>

8 本 時 (6 / 10)

- (1) 目 標 大造じいさんの残雪に対する見方の変化を読み取ることができる。
 (2) 「思考活動」を充実させる他者との交流 学習活動6 (※「思考活動」を充実させる意図的・計画的な交流の場の設定を中心に述べる。)

材 料 自分の考えと友達を考え **視 点** 考えの根拠となる叙述など **形 態** ペア・全体

手立て ・これまでの大造じいさんの残雪への心情と銃を下ろしたときの心情を比較させる。
 ・「残雪の様子や行動を表す叙述」と「心情を表す情景描写」を「大造じいさんの気持ちが分かる叙述」と関係付ける。

- (3) 展 開 は教師の言葉掛け は予想される子どもの反応 ◆ は重点評価項目 ◎は「思考活動」 ☆はICT活用の留意点

過程(分)	主 な 学 習 活 動 と 予 想 さ れ る 子 ど も の 反 応	教 師 の 指 導 ・ 評 価
つ見 か通 むす (3)	<p>1 前時の学習場面を振り返る。◎想起</p> <p>2 本時の学習内容を確認める。 今日は何の場面の学習ですか。 大造じいさんが残雪に向けた銃を下ろす場面です。</p> <p>3 学習課題と学習の進め方を確認する。 なぜ、大造じいさんは残雪に向けたじゅうを下ろしたのだろうか。</p>	<p>○ 単元の学習課題と前時の学習内容を想起させることで、本時の学習課題をもつことができるようにする。</p> <p>○ 学びの足跡や学習計画などを掲示しておくことで、前時までの学習内容や本時の見通しなどをすぐに確かめることができるようにする。</p> <p>☆ 電子黒板に「学習の進め方」を提示することで、見通しをもって学習に取り組むことができるようにする。</p>
調深 べめ る (10)	<p>4 学習場面を音読する。</p> <p>5 大造じいさんの気持ちが分かる叙述と情景描写、残雪の様子や行動などを基に、大造じいさんの心情の変化を交流する。◎比較、関係付け</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>○じゅうを構えたとき</p> <p>・東の空が真っ赤に燃えて…。 ・今日こそ ・あの残雪め</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>・いまいましい。・ただの鳥。 ・ひとあわふかせてやるぞ。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>○じゅうを下ろしたとき</p> <p>・正面からにらみつけました。 ・いかにも頭領らしい…。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>強く心を打たれて、ただの鳥に対して しているような気がしませんでした。</p> </div> </div>	<p>○ 色を分けてサイドラインを引かせることで、「残雪の様子や行動を表す叙述」と「心情を表す情景描写」を「大造じいさんの気持ちが分かる叙述」と関係付けて捉えることができるようにする。</p> <p>○ 挿絵の吹き出しに言葉を書き込むワークシートを用意することで、個に応じた指導に生かすことができるようにする。</p>
ま広 とげ める (17)	<p>6 大造じいさんが残雪に向けた銃を下ろした理由をまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>・ 残雪がガンの頭領として仲間のガンを守った姿に感動したから。 ・ 残雪が「たかが鳥」「ただの鳥」ではなく、知恵や勇気をもった人間みたいに思えたから。</p> </div>	<p>○ 「2」の場面「今年こそ」が「今日こそ」に変わったり、「1」の場面「たかが鳥」が「ただの鳥に対してしているような気がしませんでした。」に変わったりしているように、前時までの場面との比較も行うことで、大造じいさんの心情の変化を捉えることができるようにする。</p> <p>☆ デジタル教科書に朗読記号を書き込むことで、全員で朗読の工夫を確かめることができるようにする。</p>
高味 めわ る (15)	<p>7 学習場面をどのように朗読したらよいか話し合う。◎比較、関係付け</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>大造じいさんが残雪の姿に心を打たれた場面は、しみりとした感じで、静かにゆっくり読めばいいと思います。</p> </div> <p>8 まとめの朗読をする。</p>	<p>☆ 録画した朗読の様子と事前に録画した音読の様子を比較することで、読み取ったことをどのように読みに生かすことができたか、実感することができるようにする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>◆ 文章から受け取った印象を大切にしながら、その思いや考えが伝わるように朗読している。【読む能力：朗読】</p> </div>

第5学年国語科 「大造じいさんとガン」における評価資料（全10時間）

重点評価項目

自分の思いや考えが伝わるように朗読をするとともに、優れた叙述について自分の考えをまとめることができる。

評価の観点

※学習活動(時)

ア	音読に関すること	自分が文章から受け取った印象を大切にしながら、その思いや考えが伝わるように朗読している。	4 (3/10) ~
エ	文学的な文章の解釈に関すること	登場人物の心情や場面の情景描写などの優れた叙述について自分の考えをまとめている。	4 (3/10) ~

評価方法：ワークシート、ノート、発表、ブックトークカード、朗読

おおむね満足できる (B)

※学習活動(時)

ア	自分の思いや考えと読み方の工夫の根拠を明らかにし、声の大きさ、速さ、強弱、声の高さ、間の取り方、声の調子などに気を付けて朗読している。	4 (3/10) ~
エ	登場人物（大造じいさん）の心情を情景描写などとともに読み取り、優れた叙述に対して自分が考えたことを紹介している。	5 (8/10) ~

おおむね満足できる (B) の表現(記述)例

エ ブックトークカードの表現例

ア 朗読の表現例

【作品名】大造じいさんとガン

【感動した場面・表現】

らんまんとさいたスモモの花が、その羽にふれて、雪のように清らかに、はらはらと散りました。

〔理由〕

ケガがなおった残雪が元気に飛び立っていく様子を大造じいさんが晴れやかな気持ちで見送っていることを表していると思うから。

【朗読の仕方】

花がはらはらと散っていく様子を伝えるために、ゆっくと読む。

朗読記号・・・強くはつきり

ゆっくと

間を空ける...

【思いや考え・読み方の工夫の根拠】
待ちに待った残雪との対決の場面だから、地の文はゆっくと静かに読んで、大造じいさんの緊張感を出したい。
「あの残雪め」は、大造じいさんの強い気持ちが入った言葉だから、強くはつきり読みたい。
【朗読記号の記入例】
大造じいさんのおねは、わくわくしてきました。しばらく目をつぶって、心の落ち着くのを待ちました。そして、冷え冷えするじゅうしんをきゅつとにきりしめました。
じいさんは目を開きました。
「さあ、今日こそ、あの残雪めにひとあわふかせてやるぞ。」

評価を生かした指導

〈Bの学習状況の子どもに対して〉

- ア 作品の朗読の範囲をさらに広げて読むことができるようにする。
- エ 「大造じいさんとガン」と他の椋鳩十の作品を比較することで、叙述における共通点や相違点を見つけることができるようにする。

〈Cの学習状況の子どもに対して〉

- ア 複数の朗読の仕方を提示し、登場人物の会話や行動、情景描写などから、適切な読み方を選択できるようにする。
- エ 好きな場面や表現にサイドラインを引いたり、その理由を書き込んだりすることができるワークシートを用意する。

※ 指導案「7 単元の学習課題を工夫して設定した指導計画」の学習活動